

第2回オンラインサロン ～社協が実施する訪問介護の経営を考える～ 開催要綱

1. 目的

コロナ禍においても、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、社会に参加し、自立的な暮らしを最期まで続けることのできる「地域共生社会」を実現するためには、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進が必要です。

一方で、介護・障害サービス事業を含め、社協事業全体の財務状況は年々厳しさを増しており、各社協が財務状況や各事業・活動の意義、効果を改めて確認・分析し、今後めざす姿に向けて計画的に経営基盤の強化に取り組むことが求められています。

また、令和3年度介護報酬改定を踏まえ、報酬改定の具体的な内容等を理解するとともに、各社協における事業経営への影響を分析し、今後の戦略的な事業経営を展望することも不可欠となります。

そこで、今回のオンラインサロンでは、令和3年度介護報酬改定を踏まえ、社協が実施する訪問介護の経営をテーマに今後の戦略的な事業経営の考え方と実践について意見交換を行います。

2. 主催

全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会 市区町村社協介護サービス経営研究会

3. テーマ

社協が実施する訪問介護の経営を考える

4. 日時

令和3年11月19日（金）13時30分～15時30分（120分）

5. 実施方法

ライブ配信（zoomミーティング）

6. 参加対象

- ① 市区町村社協の介護サービス経営に携わる役職員
- ② 都道府県社協の役職員

7. 参加費

無料 ※ 資料はデータでの提供で、印刷物での資料送付はありません。

8. 定員

200名 ※ 定員になり次第、締め切ります。

9. プログラム

時 間	主な内容
13:00~13:30 (30分)	zoom ミーティングへ入室開始
13:30~13:35 (5分)	【全体】挨拶 佐賀県・唐津市社協常務理事・事務局長 横山 敬司 氏 (全社協地域福祉推進委員会市区町村社協介護サービス経営研究会幹事会委員長)
13:35~13:40 (5分)	【全体】オリエンテーション 「オンラインサロンの進め方について」 全社協地域福祉部
13:40~14:20 (40分)	【全体】説明 「訪問介護事業の経営改善に向けた取り組み」 事例報告： 福島県・田村市社会福祉協議会 解説： 福島県社会福祉協議会 事務局長 関 靖男 氏 (全社協地域福祉推進委員会市区町村社協介護サービス経営研究会幹事会委員)
14:20~14:30 (10分)	【全体】質疑応答 「説明を受けた質疑応答」 全社協地域福祉部
14:30~15:20 (50分)	【ブレイクアウトセッション】参加者同士の情報交換（1グループ：5社協程度） 「社協が実施する訪問介護の経営の方向性」
15:20~15:30 (10分)	【全体】まとめ 「課題共有・情報交換を受けて」 福島県社会福祉協議会 事務局長 関 靖男 氏 (全社協地域福祉推進委員会市区町村社協介護サービス経営研究会幹事会委員)

(※) ブレイクアウトセッションでは、1グループ5社協程度で情報交換を行います。参加者の中から情報交換の「進行役」をお願いします。また、都道府県社協の参加者のみのグループは設定しません。

10. 事前課題

① 訪問介護を実施する市区町村社協の参加者の皆様は、「訪問介護事業所経営分析シート（令和2年度）」「訪問介護事業所経営分析シート（令和3年度：4月～9月）」を作成し、下記送付先までメールにてご提出ください。メールの件名は「介護サービス第2回オンラインサロン事前課題」としてください。1社協で複数名参加される場合、事前課題の提出は1回で結構です。

[事前課題送付先] z-chiiki@shakyo.or.jp

② オンラインサロンの参加にあたって、事前に講義「令和3年度介護報酬改定を踏まえた社協・介護サービス事業の経営分析の視点」の動画（YouTube）をご観聴ください。

[事前視聴動画] <https://youtu.be/wtKyIpqwAmI>

◆◆◆zoom ミーティング参加にあたっての注意事項◆◆◆

- zoom ミーティングへの参加が初めての方は、以下 URL から接続テストを行ってください。
[zoom テスト] <https://zoom.us/test>
- zoom の操作方法は、zoom ヘルプセンターでご確認ください。
[zoom ヘルプセンター] <https://support.zoom.us/hc/ja>
- zoom ミーティングに参加する場合は周囲の音声をマイクが拾いますので、事前に静かな場所を確保してください。もしくはヘッドホン、マイクの使用を推奨します。
とくに同じ場所で複数の参加者（複数の端末）がいる場合はハウリングを起こしますので、ヘッドセットをご利用ください。

11. 申込方法

下記申込フォームからお申込みください。

[申込フォーム] <https://forms.gle/R2AWnrxsbMaQb2RC7>

※ 1 社協で複数名申込する場合は、1名ずつ申込フォームよりお申込みください。

※ 11月10日(水)に申込フォーム登録者に一斉に申込確認メールを送信します。確認メールが届かない場合は、z-chiiki@shakyo.or.jpまでお問合せください。

※ 11月17日(水)〔予定〕までに当日資料とzoomミーティングのURL、ミーティングID、パスコードをメールで送信します。

12. 申込締切

令和3年11月5日(金) 17時

13. スケジュール(予定)

11月5日(金) 17時

【申込・事前課題締切】各社協 ⇒ 全社協

11月10日(水)

【申込確認メール送信】全社協 ⇒ 各社協

11月17日(水)

【当日資料・zoomURLメール送信】全社協 ⇒ 各社協

11月19日(金) 終了後

【事後アンケートメール送信】全社協 ⇒ 各社協(任意回答)

14. F A Q

Q1 1社協から複数名参加することはできますか。その場合、申込フォームにはどのように入力すればよいですか。

A1 できます。申込フォームには、1名ずつお申込みください(同じメールアドレスの登録でも構いません)。

Q2 申込フォームから申込送信後、参加者の変更や申込キャンセルはできますか。

A2 できます。オンラインサロンの前日(11月18日(木))17時までに全社協地域福祉部までメール(z-chiiki@shakyo.or.jp)またはTEL(03-3581-4655)にてご連絡ください。

Q3 1台のパソコンを使って複数名参加することはできますか。その場合、申込フォームにはどのように入力すればよいですか。

A3 できます。申込フォームには、1名ずつお申込みください(同じメールアドレスの登録でも構いません)。

Q4 オンラインサロン(11月19日)の日がどうしても日程が合わずに参加できません。当日の内容を録画した動画を配信する予定はありますか。

A4 録画配信の予定はございません。

【お問い合わせ先】

全国社会福祉協議会 地域福祉部(担当:岡崎、小林、貴島)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL: 03-3581-4655 FAX: 03-3581-7858 E-mail: z-chiiki@shakyo.or.jp

◇◆◇事前課題について◇◆◇

- 今回のオンラインサロンでは、事前課題として、「訪問介護事業所経営分析シート（令和2年度）」「訪問介護事業所経営分析シート（令和3年度：4月～9月）」を、ご記入できる範囲で、作成していただきます。1社協で複数名参加される場合、事前課題の提出は1回で結構です。
- 介護サービス事業の経営改善に取り組むためには、当然のことながらまずサービスの実績や利用者の状況、事業の収支といった実態を把握する必要があります。
- すでに多くの市区町村社協でこうした実態把握は何らかの形で実施されていると思われますが、事業の実施状況をただ結果として把握するだけではなく、これらを経営の判断や改善に生かすことを意識した把握・管理と活用を行っていく必要があります。
- 具体的には、サービスごとの目標値（ベンチマーク）を設定したうえで、月次・四半期ごとにサービス実績や収支を把握し、計画・予算と比較して進捗状況を評価する、前月・前年度同月との比較、同じ地域の他事業所や他の地域の事業所との比較を行うことで事業所の特徴を知るといった取り組みを実施していくことが必要です。
- これまで「経営分析シート」を作成されていない市区町村社協の皆様も、今回の事前課題を機に、ご記入できる範囲で、「経営分析シート」の作成にお取り組みください。
- 「経営分析シート」では、まず初めにサービスごとの目標値を設定し入力することを推奨しています。最初は目標の設定レベルや算出の考え方などについて戸惑いがあると思われますが、まずは設定してそれに向けて事業を経営してみるということを繰り返す中で妥当な目標が設定できるようになっていくため、まずは仮置きでも目標値を入力して意識することを勧めします。
- もう一つのポイントは、収支の把握について、年度末になって最終的な収支がはじめてわかるのではなく、月次においても予算に対してその時点や期間でどの程度の収入・支出があるのかを正確に把握していくということです。月次で状況を把握していくことで、変化の要因を分析し、必要な解決策を迅速に講じていくことができます。
- 今回のオンラインサロンでは、各市区町村社協の皆様の「経営分析シート」の結果等をもとに、社協が実施する訪問介護の経営の方向性」等について情報交換を行うこととしています。